

5.3 予測・評価の見直し

5.3.1 廃棄物

(1) 予測事項

予測事項は、事業の実施に伴う建設廃棄物及び建設発生土の排出量とした。

建設廃棄物の種類は、鉄骨・鋼くず、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、混合廃棄物、その他とした。

廃棄物の予測の見直しに際して、事業計画の変更の概要及び理由（5 ページ参照）に示したとおり、昭和 50 年代に高架橋を建設した際に使用した既設の鋼矢板を撤去する必要があり、鋼くずの排出量が増加することから、鉄骨・鋼くずの排出量の見直しを行う。

また、踏切部の既設の道路アスファルト、仮設ホームの舗装等のアスファルト塊の撤去時期及び規模についての計画が具体化したことにより、今後も一定量のアスファルト塊が排出することが明らかになったことから、アスファルト・コンクリート塊の排出量についても見直しを行う。

コンクリート塊、混合廃棄物、その他の建設廃棄物、建設発生土及び建設泥土については、計画の具体化、または工事予定期間及び工事工程の変更による排出量の変更がないため、見直しを行わない。

(2) 予測の対象時点

予測の対象時点は、【変更前】と同様に、工事の施行中とした。

(3) 予測地域

予測地域は、【変更前】と同様に、解体・撤去の対象となる事業区間とした。

(4) 予測手法

予測手法は、【変更前】と同様に、建設廃棄物については、現在の鉄道施設の設計図面から解体・撤去の対象となる構造物の数量を推定する手法とした。

(5) 予測結果

既存構造物の撤去に伴い発生する鉄骨及びコンクリート塊等の予測結果は、表 5.3-1 に示すとおりである。

表5.3-1 建設廃棄物の排出量

【変更後】

項目	評価書の予測結果（トン）				
	鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	混合廃棄物	その他
レール等	1,480	—	—	—	—
マクラギ	—	3,400	—	—	—
バラスト	—	—	—	—	38,850
電気工事	385	—	—	—	—
仮設工事	2,250	6,760	494	—	—
既設擁壁・高架橋	920	9,290	—	—	—
竹ノ塚駅舎	155	985	—	5	—
その他 (駅ビル、人道橋等)	1,407	11,685	2,045	515	—
合計	6,597	32,120	2,539	520	38,850

注) 変更箇所を下線で示す。

【変更前】

項目	評価書の予測結果（トン）				
	鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	混合廃棄物	その他
レール等	1,480	—	—	—	—
マクラギ	—	3,400	—	—	—
バラスト	—	—	—	—	38,850
電気工事	385	—	—	—	—
仮設工事	2,250	6,760	—	—	—
既設擁壁・高架橋	920	9,290	—	—	—
竹ノ塚駅舎	155	985	—	5	—
その他 (駅ビル、人道橋等)	1,270	11,685	25	515	—
合計	6,460	32,120	25	520	38,850

(6) 評価

評価の指標は、【変更前】と同様に、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年12月25日、法律第137号）、「資源の有効な利用の促進に関する法律」（平成3年4月26日、法律第48号）、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日、法律第104号）、「東京都廃棄物条例」（平成4年6月24日、条例第140号）及び「足立区廃棄物の処理及び再利用に関する条例」（平成11年12月27日、条例第38号）に定める事業者の責務を評価の指標とし、環境保全のための措置等を勘案してその妥当性を検討した。

建設廃棄物については、既存線路の撤去により発生するレール及びマクラギについては、可能な限り再利用する。既存構造物等の撤去により発生する混合廃棄物等については、再利用を図るよう分別し、再利用できないものは東京都の許可を受けている業者に委託し、適正に処理することから、評価の指標を満足する。

5.3.2 廃棄物（資料編）

(1) 予測結果

(7) 仮設工事により発生する主な廃棄物

仮設工事により発生する主な廃棄物としては、鉄骨・鋼くず、コンクリート塊及びアスファルト・コンクリート塊があり、それらの予測結果は、表 5.3-2 に示すとおりである。

数量及び単位重量は、類似の高架化工事の実績等により算出した。

表 5.3-2 建設廃棄物予測結果（仮設工事）

【変更後】

項目	数量	単位重量			建設廃棄物発生量 (t)		
		鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊
工事桁	27 連	20t/連	—	—	540	—	—
杭	216 本	1.5t/本	—	—	325	—	—
ホーム、上屋、階段	1,500m ²	0.115t/m ²	—	—	175	—	—
エレベータ等仮設施設	1,500m ²	0.07t/m ²	—	—	110	—	—
仮設地下通路	3,000m ²	0.355t/m ³	2.25t/m ³	—	1,065	6,760	—
仮設フェンス	3,500m ²	0.01t/m ²	—	—	35	—	—
ホーム舗装等	<u>2,100m²</u>	—	—	<u>0.235t/m²</u>	—	—	<u>494</u>
合計	—	—	—	—	2,250	6,760	<u>494</u>

注) 変更箇所を下線で示す。

【変更前】

項目	数量	単位重量			建設廃棄物発生量 (t)		
		鉄骨・鋼くず	コンクリート塊		鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	
工事桁	27 連	20t/連	—		540	—	
杭	216 本	1.5t/本	—		325	—	
ホーム、上屋、階段	1,500m ²	0.115t/m ²	—		175	—	
エレベータ等仮設施設	1,500m ²	0.07t/m ²	—		110	—	
仮設地下通路	3,000m ²	0.355t/m ³	2.25t/m ³		1,065	6,760	
仮設フェンス	3,500m ²	0.01t/m ²	—		35	—	
合計	—	—	—		2,250	6,760	

(イ) 既設構造物撤去により発生する廃棄物

既設構造物撤去により発生する主な廃棄物としては、鉄骨・鋼くず、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊等があり、それらの予測結果は、表 5.3-3 に示すとおりである。

表 5.3-3 建設廃棄物予測結果（その他既設構造物撤去）

【変更後】

項目		建設廃棄物発生量			
		鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	混合廃棄物
人道橋・ 跨線橋	数量	500m ²			
	単位重量	0.24t/m ²	1.23t/m ²	—	—
	発生量 (t)	120	615	—	—
橋上東西 自由通路	数量	500m ²			
	単位重量	0.24t/m ²	1.31t/m ²	—	—
	発生量 (t)	120	655	—	—
駅ビル	数量	4,500m ³			
	単位重量	0.229t/m ³	2.314t/m ³	—	0.114t/m ³
	発生量 (t)	1,030	10,415	—	515
道路アス ファルト	数量	5,800m ² ×0.15m			
	単位重量	—	—	2.35t/m ³	—
	発生量 (t)	—	—	2,045	—
既設鋼矢板	数量	2,740m			
	単位重量	0.05t/m	—	—	—
	発生量 (t)	137	—	—	—
合計		1,407	11,685	2,045	515

注) 変更箇所を下線で示す。

【変更前】

項目		建設廃棄物発生量			
		鉄骨・鋼くず	コンクリート塊	アスファルト・コンクリート塊	混合廃棄物
人道橋・ 跨線橋	数量	500m ²			
	単位重量	0.24t/m ²	1.23t/m ²	—	—
	発生量 (t)	120	615	—	—
橋上東西 自由通路	数量	500m ²			
	単位重量	0.24t/m ²	1.31t/m ²	—	—
	発生量 (t)	120	655	—	—
駅ビル	数量	4,500m ³			
	単位重量	0.229t/m ³	2.314t/m ³	—	0.114t/m ³
	発生量 (t)	1,030	10,415	—	515
道路アス ファルト	数量	210m ² ×0.05m			
	単位重量	—	—	2.35t/m ³	—
	発生量 (t)	—	—	25	—
合計		1,270	11,685	25	515